

町営塾「じゆうく。」活動報告レポートVol.2

発行年月日：2020年1月7日（火）
お問合せ：四万十町人材育成推進センター
0880-22-3163（前田・山藤）

2020

Happy New Year

本年も、「じゆうく。」をどうぞ
よろしくお祈りします!!



明けましておめでとうございます！まだかまだかと思っていた東京オリンピックやパラリンピックもすぐそこ。今年は日本全体が盛り上がる1年となりそうですね。気持ちを新たに迎えた2020年、みなさんはどんな1年にしたいですか？私たち「じゆうく。」は今年もみなさんの学びをサポート出来るようスタッフ一同頑張ります！今年も1年よろしくお祈りします。

通塾 状況 9月～12月

現在「じゆうく。」では両教室合わせて70名の生徒が在籍しています。くぼかわ教室は高校在籍生徒の58%、しまんと教室は43%が塾に在籍しています。くぼかわ教室では1～2年生の新規登録生が合わせて3名増え、しまんと教室は、1年生の新規登録生が1名増えました。

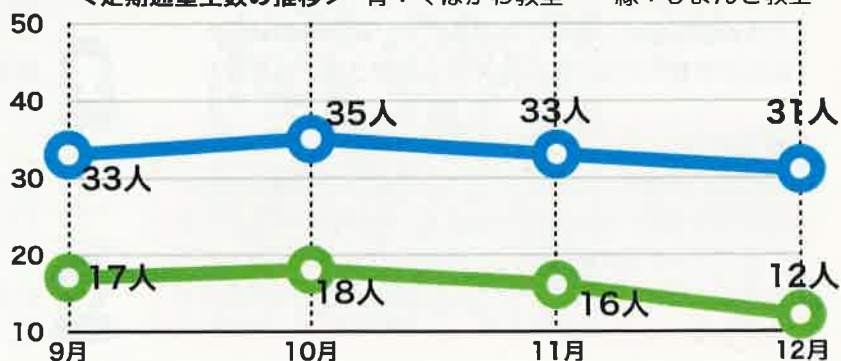
12月は両教室定期通塾生の人数が減少傾向にありますが、テスト後や冬休みに入ったこと、3年生の通塾が徐々に減少していることが要因としてあげられます。また、テスト期間中の通塾は多く、塾では授業の復習プリントを用意したり、範囲内の問題をランダムに出すミニテストを作成したりなどして、定期テスト対策をしています。

※定期通塾：
週1回以上通塾している状態

<9月～12月の塾利用状況>

 高校 在籍人数	 塾 在籍人数	※定期 通塾人数	1日平均 利用人数	1日平均 滞在時間
窪川 高校 77人	くぼかわ 教室 45人	33人	19人	2時間 16分
四万十 高校 58人	しまんと 教室 25人	16人	12人	1時間 43分

<定期通塾生数の推移> 青：くぼかわ教室 緑：しまんと教室



2019 じゅうく。 アンケート

＜アンケート概要＞
 2019年度「じゅうく。」利用アンケート
 配布数：71部（生徒・保護者用アンケート同封）
 回答率：生徒82%（58部）保護者44%（31部）
 設問数：生徒用13問＋自由記述用紙 保護者用6問
 アンケート回答者属性は、表の通りです。▶

	回答数	割合
1年男子	10	17%
1年女子	20	35%
2年男子	4	7%
2年女子	14	24%
3年男子	4	7%
3年女子	6	10%
合計	58	100%

今年も、通塾生と保護者の皆様に、「じゅうく。」に関するアンケートにご協力いただきました。生徒の回答を中心に、結果をいくつか抜粋してご報告いたします。

1) 塾で目標を設定し努力することに取り組みましたか？

	2019年割合	2018年割合
そう思う	22%	28%
ややそう思う	74%	55%
あまりそう思わない	0%	3%
そう思わない	4%	7%
わからない	0%	7%
不明	0%	

全体の96%がポジティブな回答で、昨年比べて13ポイント上昇しています。毎回の定期テスト後に、各生徒に目標を設定する面談を実施していることが要因として考えられます。

2) 塾に通って、学習する意欲は向上しましたか？

	2019年割合	2018年割合
そう思う	12%	31%
ややそう思う	67%	38%
あまりそう思わない	11%	21%
そう思わない	7%	3%
わからない	3%	7%
不明	0%	

全体の8割がポジティブな回答で、昨年比べて10ポイント上昇しています。全体的に学習する意欲が向上した生徒が増えました。

3) 塾に通って、学習計画の習慣は身につきましたか？

	2019年割合	2018年割合
そう思う	11%	14%
ややそう思う	52%	41%
あまりそう思わない	31%	21%
そう思わない	3%	14%
わからない	3%	10%
不明	0%	

ネガティブな回答が3割程度あります。宿題を優先して他の学習計画を立てられなかったり、スタッフが適切な計画を立てる支援が出来なかったりしたことが要因として考えられます。

4) 塾の面談は学習や進路目標を立てることに役立ちましたか？

	2019年割合	2018年割合
そう思う	17%	24%
ややそう思う	62%	52%
あまりそう思わない	7%	7%
そう思わない	4%	7%
わからない	10%	10%
不明	0%	

昨年と変わらず、全体の8割がポジティブな回答をしています。面談が、長期的な学習と進路に役立つように、今後も学期・年間ごとの見通しを持てるようサポートしていきます。

5) 塾スタッフの教え方はわかりやすいですか？

	2019年割合	2018年割合
そう思う	66%	41%
ややそう思う	31%	45%
あまりそう思わない	0%	0%
そう思わない	0%	0%
わからない	3%	14%
不明	0%	

全体の97%がポジティブな回答です。定期テストや日々の学習への取り組みを今後も継続していきます。

★総括★

概ね高い評価をいただいております。通塾は学習意欲の向上に結びついていると考えられます。自分で計画を立てることによる計画の習慣化と、計画の立て方を工夫して行きます。回答にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

—自由記述—



2年になってからはコミ英のテストの点が伸び続けている。中学の頃から英語は大の苦手科目だったが、前回のテストでは78点までのぼりつめることができた。「じゅうく。」に來なかつたらここまで來れなかつた。（高2男子）



塾に通って成績が上がりました。成績が上がるにともなつて勉強に対する意欲も向上しました。家庭学習時間が増え、勉強する時間が増えるて生活が充実した感じがしました。（高1女子）



本を読まなかつた私に、本を読むきっかけを与えてくれた。自分の考えをスタッフが真剣に聞いてくれて、新しい価値観を見つけたり知れたりすることが出来た。勉強もだが、私はそれ以外の面で「じゅうく。」があつてよかつたと感じる。（高3女子）

じゆうく。生徒インタビュー

12月にあった期末テスト。毎日塾に通い、開室から閉室までみっちり勉強しました。そんな生徒にズームイン！！

地理を**35点**

伸ばした
cool guy!



四万十高校1年生 田邊生弥(たなべ いくみ)さん

地理のテストは記述問題が半分くらい出るんです。暗記問題は得意なんですけど記述が出来なくて…どうにか解けるようになりたいと思ってた時、「じゆうく。」のイベントのシゴトフェスで、youtuberの本田さんの話が面白くてたくさんメモったことを思い出しました。「あれ?これ授業中にもやったらいいのかも」って思い、板書以外で先生の言ったことをノートにメモするようにしたんです。そしたらよく理解できるようになって、それで点が伸びました。

★いくみの教え★

板書以外に大切なことあり!メモるべし!

大っ嫌いだった英語が
好きになった

努力家girl!!!!



窪川高校1年生 筒井瑠来(つつい るな)さん

今回のテストでは科目が増えて勉強が大変だったんですが、全体的に点数が高かったです。中でも数学は10も20点近く点を伸ばすことが出来ました。中学校からの大きな変化は、大っ嫌いだった英語が好きになったことです。「意外とできるじゃん!」と思うようになって、継続して良い点数が取れていて嬉しいです。一方で、勉強の計画と実行は課題に感じています。次回は早いうちから勉強に取り組んで、決めたことを有言実行できるように頑張ります!

★るなの教え★

嫌いなものは、好きになれる!

じゆうく小太郎が送る、拝啓

勉強辛い!!!!

と1度でも思ったことがある皆様へ

じゆうく
小太郎

将来絶対使わないのになんでこんな勉強してるんだらう? 進路選択があるから仕方ないけどそれにしても辛い? 楽なことずっとした方がいいじゃねーか... と感じたことはありませんか? (否、ある。反語。)

今日はそんな皆様に耳寄りな情報をお伝えしに参りました。忙しい時間を割いて紙面を見てくださり誠にありがとうございます。突然ですが、マイケル・オズボーンという方、ご存じですか? AI研究業界ではマイケル・ジャクソンくらい有名な研究者です。「え、ピンと来ない」という方も、この情報なら聞いたことがあるのでは?

「人間が行う仕事の約半分が機械に奪われる」

どうですか? 総合の授業とかで聞いたことはありませんか? この情報を論文(邦題:「雇用の未来」)という信憑性のある形で世に公表して一躍有名になったのがマイケル・オズボーンです。そんな彼の新しい論文がこの程、日本で有名になりましたね。その名も、「スキルの未来」。要は「120種類のスキルのうち、どんなスキルが10年後も有効か?」をランキングにまとめた論文です。皆様の中には、「将来困らんように資格とっておこうかな」「これから世の中にとって必要な力ってなんだろう?」と考えている方もいるかもしれませんが、その中のトップオブトップは何か? という話ですね。

さてここで問題です。デデン! 1位はなんでしょう?? 10位から2位は記載の表のとおりです。今、隣にいる誰かと一緒に是非予想してみてください。漢字6文字。戦〇学〇力です。予想が済んだら是非下のQRコードを読み取って答えを覗いてみてください!!!

- | | | | |
|----|--------|-----|------------|
| 1位 | ?????? | 6位 | 教育学 |
| 2位 | 心理学 | 7位 | 協調性 |
| 3位 | 指導力 | 8位 | 獨創性 |
| 4位 | 社会洞察力 | 9位 | 発想の豊かさ |
| 5位 | 社会人類学 | 10位 | アクティブラーニング |

↑将来必要だとされるスキルのランキング



是非とも
答えを
確認して
欲しい!



じゅうく。 EVENT 報告



シゴトフェス 開催

2019年9月8日(土)に、シゴトフェスを開催しました。当日は、窪川高校、四万十高校、中学生合わせて60名程度の生徒が集まりました。

シゴトフェスは、四万十町の学生と、日本全国から集まった10名の大人が意見交換をするイベントです。事業を起こし会社を作ったベンチャー企業の社長、東京の有名ファッションブランドのイラストを手がけるイラストレーター、オーダーメイドのウエディングをつくるデザイナー、12万人フォロワーがいるYouTuber。興味はあるけど、「どうせ仕事になんないでしょ?」「現実問題お金の稼げないでしょ」と諦めていた仕事を現実に行っている大人と、四万十町の学生が意見交換を行いました。

前半はパネルディスカッション。それぞれのゲストの生き方や価値観を全体で共有しました。後半はグループディスカッション。生徒が疑問に思ったことや、ゲストが生徒に対して聞いてみたいこと、疑問に感じたことなどをざっくばらんに話す時間となりました。



生徒たちからは、
「自分を信じて、やりたいことをやりたいと思った」
「“好き”という感覚を大切にしたい」
「面倒だと思ったことをやってみることに」
などの声がありました。最初は緊張していた生徒たちも、次第にたくさん質問し、様々な視点で気づきを得たようでした。

Check!! どうして多様な大人に出逢う必要があるの?

多様な大人と出逢い、その人の経験や価値観を知るとは、自分の将来の選択肢を増やすことに直結します。「～だから無理だ」という思い込みを壊してくれる大人が、社会にはたくさんいるのです。例えば「社長には頭のいい人しかねないから、自分には無理」「お金がないから留学には行けない」。多くの「無理だ」の理由は「知らない」ことから生まれていることがあります。実際に、大学に行かなくても起業して社長になった人・奨学金制度を利用して無償で留学に行った人は存在しています。そんな大人を「知る」というだけでも、将来の選択肢を大きく広げることに繋がるんですね!

eスポーツ イベント開催



「しまんと未来大学」と共同でeスポーツの現状を知るイベントを実施しました。小学生から高校生までが対象で、児童生徒の参加は15名でした。ずらりと並んだゲーミングPCにみんな興奮!
ゲームはもはやスポーツ。全世界のeスポーツ競技人口は、テニスの競技人口と同じとか。日本はゲーム産業において世界でトップレベルにもかかわらず、eスポーツにおいてはかなり遅れをとっています。その現状について学び、実際にゲーミングPCを使ってチーム対抗戦で「ロケットリーグ」というゲームをしました。簡単に言えば、車を操作してのサッカーゲーム。ルールがサッカーと同じ(相手ゴールにボールを入れる)ため、見ている方はスポーツ観戦しながらで大盛り上がり!
ゲームというあまりいいイメージを持たれませんが、何かに熱中することが難しい現代っ子を熱くさせるって、やっぱりスゴイ。幅広い年代が一緒に楽しめるeスポーツは、教育利用の可能性が大きいと感じました。

「じゅうく。」ではこれからも様々な取り組みを進めて参ります。
今後とも「じゅうく。」をよろしくお願ひ致します!!

